

令和6年度 後期 子ども・若者の提案 結果公表

中学生・高校生の皆様からお寄せいただいた
主な提案の概要とさいたま市の方針をまとめました。

Thank you



つなが竜
又

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

さいたま市では、未来を担う子どもたちからの提案を市政に反映することを目的として「子ども・若者の提案」制度を実施しています。

令和6年度後期は、令和6年11月20日から令和7年1月6日にかけて募集を行いました。

寄せられた提案の概要及び市の方針をまとめたものを公表します。

行ってみたくなる環境イベントのアイデア大募集！

▶テーマ あなたが行ってみたいと思う環境イベントを企画してください。

さいたま市は、市民の皆さんが環境に関心を持つきっかけづくりとして、環境啓発イベントを開催予定です。

あなたは、どのような内容の環境啓発イベントであれば、ぜひ行ってみたい！と思いますか？

あなたの考えを聴かせてください。

第23回さいたま市 環境フォーラムの様子



さいたまこどもエコ検定(環境クイズ)に参加してくれた方に記念品(木製マグネット等)をプレゼントしました！

環境について考えるきっかけになるイベントとして、こういった内容だと多くの人が興味を持ってくれるかな～



体験できるブースがあれば楽しめる！

スタンプラリーに挑戦！



子どもや若者はどんなイベントだと参加したいと思うかな～

★記載例★

【内容】

さいたま市環境テーマパークを開催！

3人～4人で参加し、1人が回答者として、環境クイズに挑戦。残りの人は、手回し発電機で、発電し、電球が光っている間のみ回答者はクイズに回答することができる。制限時間は30秒。クリアすると、環境にやさしいグッズをプレゼント！

【理由】

ゲーム感覚で環境について楽しく学ぶことができ、環境に興味を持つきっかけになると思ったから。また、通りかかった人の目にとまりやすいと思ったから。

→1,240人と60グループから、1,845項目寄せられました。

テーマやご意見・ご提案に関する問合せ先

環境局 環境共生部 環境総務課

TEL 048-829-1325

皆さん、たくさんのご意見・ご提案をお寄せいただき、本当にありがとうございました。

これから、寄せられた提案概要をご紹介します、それに対するさいたま市の方針をご説明します。



提案概要（1）

「子どもも楽しめるような体験型のイベントにしたら良い」

寄せられた提案概要

- 地球に優しい環境を疑似体験できるスペースを設置する。
（理由）体験できる所があれば、より環境について理解できると思ったから。
- エコをテーマにしたお祭りを作り、例えば、エコにまつわる「かるた」を作って、遊びながら環境について知ってもらおうと良いと思います。
- 緑のカーテン作りなどは仕組みを説明しながら、野菜や花が採れるので、やりがいがあり、楽しく取り組めることから、小さい子から大人まで楽しめると思いました。
- 山の森林を守るために植樹会を行う。
（理由）山の森林を守ることが環境を守ることにつながるから。
- 野菜を育てて食べてみる。
（理由）野菜を育てて食べてみることで、植物などを育てる楽しさを知り、農業などにも興味を持ってもらうことができるから。また、環境問題についても考える機会が増え、エコ活動を促進する行動が増えると思うから。
- 様々な企業のエコ商品を展示したり、実際に食べたりすることのできる環境博覧会を開催するのはいかがでしょう。
- 荒川の土手などで、花を植えたり雑草を抜いたり、川のクイズをしたりする。川をきれいにして、川に遊びに来る人が増えると、人と川との関わりが高まる。そうしたら、川の大切さや身近さが分かるようになると思う。また、川は県や市の境になることが多いので、さいたまの印象を良くし、持続可能なまちづくりもできると思う。
- 木から紙を直接作る体験をする。
（理由）どれだけの木が紙に使われているのか。どのように工夫したら良いのかなどを考えることができる。
- プラスチックやビニール袋が海水では分解されないということを教えるために実験をする。
（理由）プラスチックを海に捨ててはいけないということを自分の目で確かめることができるため。

など 355 項目

提案概要（1-①）「環境クイズ大会を開催したら良い」

寄せられた提案概要

- 環境に関するクイズを10問ほど用意する。クイズで正解した問題数に応じてグッズを用意する。
（理由）クイズをすることで楽しみながら環境に関する知識などを学ぶことができ、環境に興味を持つと思ったから。
- 高校生が環境問題を実際に学習し、クイズを作る。また、それに関する実験なども行う。
- 謎解きのような感じでイベントを行い、街の中で環境についての知識を増やす。
- SDGsのテーマに沿った体験型のイベントを開催する。何人かでグループを組み、会場内にあるSDGsにちなんだ「謎解き」をするなど。
- スクリーンを使った、多人数での早押しクイズ大会を行い、成績上位者には環境に配慮した景品を配る。
（理由）ゲーム感覚で楽しめるため、あまりエコに興味のない小さい子も参加してくれると思ったから。
- 環境クイズをレベル分けして、そのレベルごとにクリアしたらエコバッグ等の環境にやさしいものを配る。
（理由）レベルごとに分けないと達成感が薄いから。
- VR技術などを使ってみると若者や子どもの興味を引けると思う。例えば、エコな環境の未来と環境が壊された未来をシミュレーションして実際にVR体験してみることで楽しみながらエコの大切さを学ぶことができる。その上で、クイズもやってみると今後の生活に役立つ企画になると思う。
- さいたま市の環境に関するスマホアプリを作って、そのアプリで環境についてのクイズを解き、クイズに正解したらポイントがもらえる。環境イベントでためたポイントを使って、物が割り引いて買える。
（理由）ゲーム感覚で毎日環境について楽しく学べるから。
- 「ドキドキ！このごみは何でshow〜！」
ごみを用意して、そのごみの種類や、リサイクルしたら何に変わるのかをみんなで考える。
（理由）難易度別に分けて取り組めるから小さい子でも大人でも楽しめる。このイベントを実施することでごみの分別に困らなくなる。

など224項目



提案概要（1-②）「体を動かしながら、環境のことを学ぶことができるイベントにしたら良い」

寄せられた提案概要

- スポーツ×環境のゲームを行う。
- 環境のことやSDGsのことを知ることができるような「かるた」などのカードゲームをする。
（理由）カードゲームなら楽しんで環境のことを学べるから。
- サッカーボールを蹴り、用意しておいた巨大な的に当て、当たった数字を見る。そして、その文字数で環境に関する言葉を作り、30秒以内に答えると景品をもらえる。
- ごみが描かれたボールを「可燃ゴミ」「プラスチック」「ビン・カン」など種類ごとのカゴに投げ入れるゲーム。1分間で正解の玉の数に応じて何か景品がもらえる。
（理由）分別してリサイクルの大切さを学ぶことができるから。
- 様々なボランティア（ごみ拾い、植樹、道の掃除など）を組み合わせるスポーツゲームを作り、その大会を開く。
（理由）つまらなく思われてしまうボランティア活動も、スポーツに変えることができたらみんなで楽しめるものになると思うから。
- 大きな迷路を作って、分かれ目のところに、環境に関するクイズがあって、正解なら先に進めるというゲーム。
（理由）実際に動いてゲーム感覚で行った方が楽しく覚えられるから。
- SDGsや近年の環境問題を考えさせる、いろいろな世代が交流できるようなイベントが良いと思います。様々な世代が交流するためには子どもやお年寄りなどでもできる簡単なミニゲームをたくさん並べて今の地球の現状やこれから地球はどうなってしまうのかなどを学んだり体感できたりするとさらに良いと思います。学校などでの団体的な活動なども効果的で、他校との交流もできると参加したいと思います。
- 動画クリエイターの中でも若い世代に人気のある人を呼び、クリエイターと共に環境についてのゲームや体験を行う。
- 動物を環境破壊から守ろう！環境破壊につながる人間の行動と動物への影響を学び、ゲームなどで子どもたちを楽しませ、環境破壊につながる行動をさせないようにする。
- 植物や生物の面白いシーンや神秘的なシーンから考えて脱出ゲームを解く。
（理由）脱出ゲーム形式であれば体と頭を使って楽しめるから。
（例）オジギソウの葉が閉じるシーンからオジギソウの生態について調べ、謎を解く。
- 電気で動くゴーカートの大会を開催する。大人用のスピードの出る本格的なカートも用意し、子どもは、スピードを制限して行う。優勝者には木で作ったトロフィーを授与する。このイベントは、大人も子どもも楽しむことができる上に、電気自動車(エコカー)などにも関心を持ってもらうことができる。

など 141 項目

提案概要（1-③）「いらなくなったものを再利用して新たなものを作り出すワークショップをしたら良い」

寄せられた提案概要

- まだ使うことのできる木材のかけらやプラスチックなどを使ってコップや皿などの容器や置物を作り、売る店を開く。また、その店で上記のものを作る工作教室を開く。
（理由）まだ使うことのできるものを身近にあるものに作り変え、それを買ってもらうことで普段ごみとして捨ててしまっているものに関心を持ってもらえるのではないかと考えたから。また、自分で実際に作ってもらうことでごみなどの問題に親近感を抱いてもらうことができるのではないかと考えたから。
- エコアート。ペットボトルキャップや紙くすなどのごみを集め、イベントでアートを作り、完成した作品を駅などに展示して、多くの人に見てもらおう。例えば、さいたま市の区ごとに作品を作り、審査をし、優秀な作品は美術館に展示して、参加した人にリサイクルで作られた実用的なもの（エコバッグ、ノートなど）を参加賞としてあげる。
（理由）そうすることで、区の親交が深まり、他の区への関心も深めることができ、楽しみながら自分も環境に対して行動を起こす第一歩になるから。
- 廃材で何かモノを作るワークショップを開く。
（理由）ごみのリサイクルのことを知ることができるから。

など 125 項目

提案概要（1-④）「環境についての展示やそれを実際に体験できるブースを用意したら良い」

寄せられた提案概要

- 「環境破壊が進んでしまったら展」を開催する。見やすいイラストとともに環境破壊が進んでしまった場合、地球に起きることを書いて展示する。また、SNS映えするスポットや、VRなどでの体験ができるようにする。
（理由）近年、流行っている面白い展示会は人が集まり、多くの人に環境について知ってもらえるから。また、環境問題について危機感を持ってもらえると思うから。
- 危機が迫っている環境問題を分かりやすく解説した展示会を開く。実際に体験したり、体感できたりするとより良い。環境に配慮した食品を用いた食べ物を屋台やキッチンカー等で提供する。
（理由）食についての興味はどの家庭でも広くあるが、環境問題への理解が希薄である人が多いため、この企画を通して知ってもらおう。
- さいたま市の現状と取り組んでいる事例を紹介する。さいたま市の川や空気、土、電気等がどのような状況にあるかをパネルや実物を用いて来場した方に紹介する。
（理由）さいたま市の現状を理解することで、来場者がエネルギーの使い方を意識できるから。
- ペットボトルで作った服やリサイクルしてできたものを展示する。展示したものがどのようにして作られるのかを動画で簡単に説明する。

など 116 項目

提案概要（1－⑤）「スタンプラリーを実施したら良い。」

寄せられた提案概要

- スタンプを何か所かに設置して、その場所をまわりながら、ごみを拾うキャンペーン。
（理由）スタンプを観光名所に設置することで、まちを活性化できるし、旅行気分でごみを拾うことができるから。
- 環境に関する問題を順番に解いていくスタンプラリーをする。
- 環境にまつわる様々な体験ができるブースをまわって、体験が終わったらスタンプを1つもらえる。
- いくつかのブースを作り、そのブースごとに目的を達成したらスタンプを押してもらえ、それが何個かたまったら記念品をプレゼントするというイベント。
- さいたま市の植物園内でスタンプラリーを行う。スタンプラリーを全て達成することができたら、植物の種子や植物図鑑などをプレゼントする。
（理由）スタンプラリーを植物園内で行ったり、植物に関するグッズをプレゼントしたりすることで、植物に関心がある子どもの興味を引き、気軽に参加することができると思ったから。

など 115 項目

提案概要（1－⑥）「発電体験ができるの良い」

寄せられた提案概要

- 自転車で発電して、ミニ列車を動かしてレースをするイベント。
（理由）運動もできて、勝負もできて楽しいと思ったから。
- 「自転車をこいで自分のスマホを充電しよう」1分間に充電できた分だけお菓子がもらえる。
（理由）発電の大変さを知ってエネルギーを大切に使ってほしいし、自転車で発電することはとても難しいので何回も挑戦したくなると思うから。
- 実際に自分で発電できる体験を用意する！ツアー形式にして、再生可能エネルギーの説明をした後、再生可能エネルギーを作り、その電気を持ち帰ってもらう。
（理由）自分は仕組みもよく分かっていないし、作ることができるのかという疑問を持っている。実際に作ってみることで実感が増えると思ったから。
- 自分で電気を作る体験や、車が出すCO₂の量を知ることができるような実験をする。
（理由）環境への配慮の方法を知ることや、車が出すCO₂の量を知ることができると、車を使う場面を考え直すことができる。また、体験や実験を行うことで、楽しみながら環境について考えることができ、環境のことに興味を持つことが増えていくと思ったから。
- 風力発電などの再生可能エネルギーの発電の様子を模型などで伝える。
（理由）発電のメカニズムを分かりやすく面白く学ぶことができると思うから。

など 103 項目

提案概要（1－⑦）「環境に良い食材や廃棄予定の食材を活用すると良い」

寄せられた提案概要

- 「環境に配慮したお料理教室」
形の悪い、売れなかったものを材料にして、それぞれのグループでお料理して食べる。イベントが終わったら、使わなかった材料を持って帰ることができる。
- 「特産品を使ったフードフェスティバル」 その土地で盛んに生産されるものを用いた、フードフェスティバルを行えば、有名なものを簡単に食べられる。
- 「おいしさいたま」
スーパーやレストランなどで余った食材やさいたま市内の農家で育てられた、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食材を活用して、スイーツや料理などを提供するフードフェスを開催する。
（理由）若者に環境問題について興味を持ってもらうため。食品ロスや食べられるのに捨てられてしまう野菜などが増えているため。
- 野菜を全部使い切る料理をしよう！
（理由）家族で参加しやすいので、大人も子どもも環境を考える機会になるし、料理に興味を持てば家でもできるから。
- 「地産地消～明日からあなたも環境ヒーロー～」
さいたま市で育てられた新鮮な食材で作った料理を提供。野菜などの販売。
（理由）環境問題と聞くと地球温暖化や砂漠化、海洋プラスチックなど、とうてい1人では解決できない壮大な事柄をイメージしがちです。しかし、私たちが日ごろから食べている食材を遠い彼方の場所で生産されているものではなく、地元のものに替えるだけで、輸送時に排出されるCO2を格段に減らせます。食材の高騰が続く現在、身近な土地で作られた食材で新鮮かつ環境に優しい料理について発信するのはいろいろな人の興味を呼ぶと思います。

など 58 項目

さいたま市の方針

本市といたしましても、将来を担う子どもたちに環境に興味を持ってもらうことが何より大切であるため、実体験を通して楽しめるようなイベントづくりが非常に重要であると考えております。その具体的な体験内容について、多岐にわたるご意見をいただきましたので、実現に向けて検討してまいります。



提案概要（2）

「ごみ拾い大会を開催したら良い」

寄せられた提案概要

- ごみを制限時間内にどれだけ拾えるかというイベント。
（理由）子どもが楽しめると思ったからです。友達と競いあったり、おかしなど景品があったりしたら子どももやりたくなると思ったからです。
- ごみ拾い大会。環境に悪そうなものから順に大きなポイントを与えていき、そのポイントをどれだけ稼げるか競う。
- 公園などのごみ拾いイベント。さいたま市内を制限時間内に歩き、ごみを探します。1位から5位までそれぞれ景品を用意し、他の人は参加賞をもらえます。他にも、特定の公園内のごみ拾いイベントをして、拾ったごみの数によって景品と交換できます。
- ごみ分別のタイムアタックなどのミニゲームを体験できれば良いと思います。
（理由）楽しく、環境問題を身近なものにできると思ったからです。
- 川でごみ拾い！拾ったごみを使って、環境にやさしいものを作る。作った作品は、実際に環境のために使ったりする！！順位を付けて環境にやさしいものをプレゼントする。
（理由）ごみ拾いをする事で環境を良くすることができるので一石二鳥だと思ったから。また、順位を付けることで環境への意欲も高まると思ったから。
- ごみ拾いキャンペーンを作ってごみの分類をするためにいくつかごみの種類のブースを作って細かくごみを分ける。集めたごみの種類、量によってポイントを決め、一定の量がたまると福引を引けるようにする。ごみの回収のブースに、そのごみがどうやってどのように生まれ変わるのか、リサイクルされるのかを展示する。さらに検定を用意して、どのようにリサイクルされるかのクイズを作る。正解するとポイントがもらえるようにすることでブースの展示を見てくれる人が増える。福引は環境に優しいものや子どもが興味を引くものが良いと思う。人を集めるために、ポスターを貼るほか、無料福引券を手渡すのも効果があると思う。
- チームに分かれて、ごみを拾い、より正しく分別するゲームイベント。
（理由）これなら分別の仕方が分かり、また、チームでやることで、人と人とのつながりも広がるから。

など 299 項目

さいたま市の方針

ゲーム感覚で楽しめる大会は、子どもたちに環境について興味を持ってもらうよい機会だと思います。また、近年ごみ拾いは、スポーツ競技として注目されているところです。効果の大きい場所として駅周辺などが考えられ、実現に向けて検討してまいりたいと思います。



提案概要（3）

「来場者に景品をプレゼントすると良い」

寄せられた提案概要

- みんなでエコツリーを完成させましょう！みんなが普段やっているエコな活動を葉っぱに書いて大きなエコツリーを作る。参加してくれた人には記念品をプレゼント。
（理由）他の人の考えについて楽しく学べそうだから。
- リサイクルできるもの、例えばペットボトルの蓋などを預ける代わりに、そういうものでできたグッズをプレゼントする。リサイクルや元の形を変えるのに、時間やお金は掛かるかもしれないし、それを無償で配るのは難しいかもしれないが、一度自分が参加した、環境に良い行動が、形・ものとなって返ってきて、自分の目で確かめられたら、今後とも取り組もうと思えるのではないかと思う。
- イベントに参加した人に、エコバッグなどの環境に優しいものを渡す。
（理由）環境に優しいものを渡すことで、環境を意識してもらえと思うから。
- マグネットや鉛筆などの使い道が限られる記念品ではなく、使い道が様々な商品券やプリペイドカードにすることで、みんな参加したくなると思う。
- 今話題の有名人をイベントに呼んで、一緒に体験できるようなプログラムを組み込んで、クイズに参加して正解した人に特別なグッズを配るなど、中高生の関心を引くようにする。
- 環境イベントに参加してくれる子どもにお菓子をあげる。
（理由）子どもは甘いものが大好きだから。
- イベントの後にごみ拾いを手伝ったら、景品をプレゼント。
- 人気のアニメやゲームとコラボして、景品もそのアニメと関連させる。

など 289 項目

さいたま市の方針

本市では、これまで開催した環境フォーラムにて、環境にやさしい参加記念品を配布しております。ご意見を踏まえ、来場者全員に喜んでもらえるような景品を検討してまいります。



提案概要（４）

「SNSを活用して、イベントを盛り上げたら良い」

寄せられた提案概要

- 環境に良い写真をSNSに投稿したら、環境に良い商品をプレゼントする。
- #をつけてSNSにアップすると、グッズがもらえたりポイントが集まったりする。ポイントは環境フェス内での買い物に使える。
- SNSで現在流行しているものとコラボすれば良いと思います。
- 市のホームページを見たことがない人は、イベントがあることすら分からないので、より多くの人に見てもらうためにSNSで有名人に宣伝などをお願いすることで、若い人や県外の人も来てくれるようになると思う。
- 環境イベントのブースで、アバターを使った動画配信者がモニターの中で環境破壊について語れば、多くの人々が興味を持つきっかけになるのではないだろうか。
- アニメやゲームとコラボすると良いと思う。
（理由）学校にあるアニメの「20歳未満のたばこ禁止ポスター」を見て、これはみんな守りたくなるなあと考えたから。
企画ややることの案としては、まずキャラクターを使用した書き下ろしのイラストを使ったイベントのポスターを作る。そして、イベント会場では、クイズ、スタンプラリーを開催し、入場特典や景品にキャラクターたちの要素とエコ・環境の要素を入れたグッズを配る。ファンが喜ぶグッズを作れば、次のコラボ環境イベント時に、また来てくれる可能性が高くなる。ポスター・グッズ共にそれらの情報がSNSで拡散されればさらに来場者も増える。

など 20 項目

さいたま市の方針

SNSの活用については、本市といたしましてもイベントを周知する上で、重要な取組であると認識しており、これまでも環境フォーラムのチラシ画像を使用し、市のSNSアカウントで周知してまいりました。ご意見では、今までにないSNSの活用方法に関するものも多くありましたので、より効果的な活用方法について、検討してまいります。



テーマ担当課よりご挨拶

様々なご提案をいただき、ありがとうございました。

いただきましたご意見につきましては、今後の環境イベントの企画を進めていく上での参考とさせていただきます。

また、今回のテーマが、環境について興味を持つきっかけとなりましたらうれしいです。さいたま市では、環境イベントをはじめ、環境への関心を高めるきっかけや、身近な場所で環境学習に取り組むことができる機会を創出しています。さいたま市の環境教育・学習の取り組み状況は、以下のURLから確認できますので、ぜひご覧ください。



さいたま市ホームページ「いつでも！どこでも！みんなで！環境教育♪」

<https://www.city.saitama.lg.jp/001/009/017/index.html>



令和6年度 後期

「子ども・若者の提案」への ご協力ありがとうございました



令和6年度後期テーマ

行ってみたくなる環境イベントのアイデア大募集！

▶テーマ あなたが行ってみたいと思う環境イベントを
企画してください。

皆さんからいただいた意見・提案は、今後のさいたま市を運営していく上での参考とさせていただきます。

今後も様々なテーマについて募集しますので、若い皆さんならではの意見・提案を、ぜひお寄せください。

また、これまでにいただいた提案は、市政に活かされております。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。

「市民の声が反映された例」

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/002/018/index.html>



令和7年3月21日



さいたま市

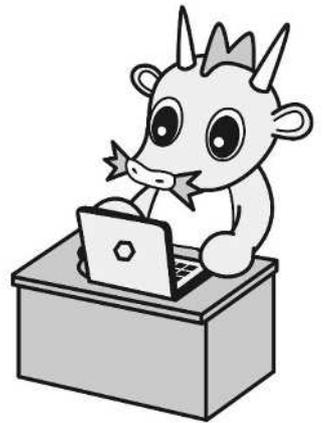
市長公室秘書広報部広聴課

お寄せいただいた主な提案概要と さいたま市の方針についての公表

この冊子は、各区役所情報公開コーナー及び
市ホームページでお知らせしています。

「『子ども・若者の提案』制度」ホームページ

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/002/014/index.html>



問合せ

さいたま市 市長公室

秘書広報部 広聴課 広聴係

直 通 048-829-1931

FAX 048-825-0665

E-mail : kocho@city.saitama.lg.jp